

「アグリ mo ぐっぴー」による冬季の夜間電力 負荷造成と省エネ性の向上ならびに省力化 ～圧倒的業界トップの運転効率（暖房定格 COP4.9）～

小 関 将 充 （こせき まさみつ）（株）イーズ 営業本部 事業開発部 主任

要約 昨年秋よりハウス栽培用ヒートポンプ空調「アグリ mo ぐっぴー」^(※)（7馬力相当機種）の販売を開始。実績のある「店舗・オフィス用エアコン」をベースに、逆転の発想と、ハウス栽培専用ならではの充実した機能を組み合わせて開発。室外ユニット筐体を使用したハウス内ユニットで圧倒的業界 No.1「暖房 COP4.9」・業界唯一のフィルターレス室内ユニット・除湿専用機を上回る除湿量などを実現。重油焚きなどのボイラー加温設備に比べて、暖房時のランニングコストを約 1/3 に低減できるのが特長。

^(※)「ぐっぴー」は、good な package（パッケージエアコン）、good な price（価格）、good な performance（性能）を意味する「グッドな P」を表現。株式会社イーズの取扱商品である「エコミニぐっぴー（小容量氷蓄熱式パッケージエアコン）」、「換気 mo ぐっぴー（省エネ換気機能付きエアコン）」に続く「ぐっぴーシリーズ」第三のラインアップとして、農業（agriculture：アグリ）の分野においても（mo）「ぐっぴー（グッドな P）」をご体感いただくことを目指す。

1. はじめに

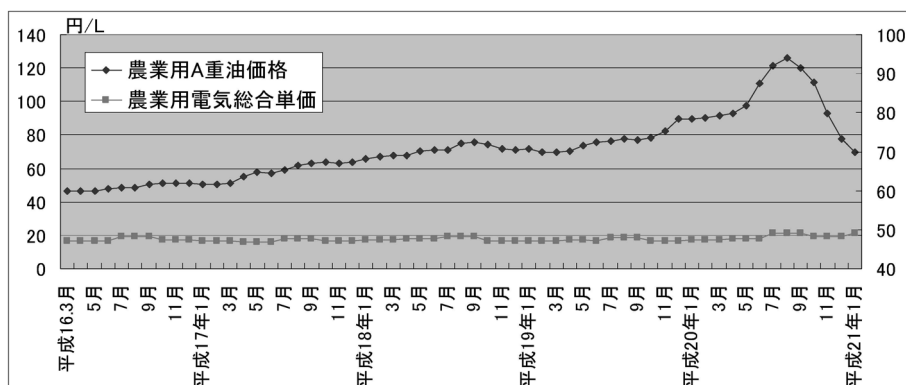
施設園芸用ハウスにおける暖房方式の 95% は石油利用であり、その 90% を温風暖房機が占めるといわれ、施設園芸分野からの二酸化炭素排出の一因となっている。

2008 年 4 月から京都議定書第一拘束期間が始まり、また洞爺湖サミットも開催され、施設園芸部門におい

ては 2010 年までに温室効果ガスを約 17 万 CO₂t 削減が政策目標として掲げられるなど、環境負荷低減のニーズの高揚とともに、ヒートポンプのような高効率なシステムへの期待も高まっている。

一方、近年の原油価格は本年の夏をピークに下落傾向にあるものの、今後の価格動向は依然として不透明な状況にあり、農家の経営は厳しさを増している（図 1）。

このような状況下、平成 21 年度も農水省による省エネルギー対策補助事業において「強い農業づくり交



（出所：農業物価指数より 全国平均価格）

図 1 A 重油価格の推移